

令和3年度 学校評価

重点目標	①自主自律の意識を向上させ、学習・部活動・学校行事などに積極的に取り組ませる。 ②令和4年度から実施する新学習指導要領の趣旨を踏まえ、授業改善を進めるとともにICT機器の効果的な利用方法や観点別評価について研究を深める。 ③あいち・アドバンス・ラーニングネットワーク事業を推進するとともに、SDGs（持続可能な開発目標）の視点をもって国際理解教育を推進する。 ④学校生活全般の様々な指導を通して、自他の生命の尊重と規範意識の高揚を図る。 ⑤それぞれの目線でとらえた生徒の情報を共有することで、生徒に対する、より多面的で深い理解を得るよう努める。		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
学校行事 (総務課)	*学校行事の充実と円滑な運営 *PTAとの連携の推進	*職員・PTA・同窓会との連絡を密にして意見を集約、調整する。	*昨年度同様PTAによる活動はほとんどできなかったが、そんな状況の中でも連絡を取り合いながらできることを模索し活動することができた。
安全 (総務課)	*防災意識の向上を図る。 *地域の避難所としての役割を果たす。	*避難訓練や防災教育等を計画的に実施する。 *北一社学区の自治会と連絡をもち、万一の場合、意思疎通ができるようにする。 *本校が避難所となることを含めた包括的なマニュアルを作成する。	*防災マニュアルの見直しを進めることができた。 *北一社学区自治会の防災時の参集訓練に体育館を貸し出した。 *避難訓練が形式化してきている部分があるので、内容も含めて検討していきたい。
学習指導 (教務課)	*授業改善に取り組む。	*生徒の興味を引き出す授業を行う。 *発見学習・問題解決学習・調査学習など参加型学習を授業に取り入れる。 *授業公開と参観を推進する。	*授業の方法・内容を工夫するには、教授する教科内容の整理とともに生徒理解が求められる。授業改善の一助として教職員の知見が共有される方法を今後考えていきたい。 *国際教養科のグローバル探究において参加型学習が取り入れられており、教科における一つの実施モデルとなっている。 *授業公開・参観を3週間行った。今後、内容の一層の充実を図りたい。
生徒指導 (生徒課)	*自己を律する力を身につけさせる。 *規範意識を高めさせる。 *いじめの未然防止に関わる取組の充実を図る。	*遅刻を減らし、基本的な生活習慣を確立させる。 *身だしなみの意識を高めさせる。 *人権に対する意識を高めさせる。 *情報モラルの意識を高めさせる。 *生徒会活動・学年との連携を深める。 *全校集会やホームルーム活動を通じて、いじめ問題を主体的に考える機会を設ける。	*遅刻については、配慮が必要な生徒もいるが、多くは安易で不注意な要因が多く昨年度よりも増加してしまった。 *ブレザーの制服にスラックスを採用した。市販品でも可としたところ60名を超える多くの生徒が履いており、必要性を感じた。 *土日や長期休暇中に部活動で登校する際の服装について、生徒の声を発端に校則を緩和する対応をした。今後も生徒からの提案などを基に、諸問題を検討していきたい。
特別活動 (特活課)	*有事における安全な学校行事の運営・実施について考え、思考力と行動力を育む。	*学校行事や部活動を通じて、学年を超えた生徒同士のつながりを強める。 *特別活動を通して、身の回りだけでなく広い視野をもって行動できる生徒を育てる。	*今年度は行事がほとんど実施することが出来なかった。不運であったとはいえそれまでだが、他の方法があったのではないかと悔やまれる。この教訓を生かし、来年度はどのような状況でもできるような工夫を生徒とともに考えていきたい。
進路指導 (進路課)	*自己の在り方生き方考え、主体的に進路選択・決定できるよう、キャリア教育を推進する。	*キャリア教育を推進する。 *実力考査の充実を図る。 *1、2年次の学習を充実する。 *校外模試の有効利用を図る。	*大学入試のため進路指導と各生徒個人が目指すキャリア形成を両立させるために、講演会、進路L.T、全日L.Tなどの学校行事を通じて現状と課題を洗い出させながら、各自のキャリア目標を考えさせることができた。
学校保健 (保健厚生課)	*生徒の健康状態把握 *教育相談の充実 *清掃活動の充実	*生徒一人一人の健康観察をより良い方法を検討し、継続して実施する。 *教育相談ではSC、相談チーム、関係職員の連携を密にとり、早期解決に努める。 *清掃活動の充実を図る。	*今年度も体調不良の生徒に関しては、個別対応を丁寧に行い、保護者との連携も迅速に行った。 *教育相談に関しては、心の悩みを抱える生徒が増加する一方、複数教員対応で改善された事例もあり、今後も早期から支援を行っていく。 *清掃活動は、今後も充実を図っていく。
図書指導 (図書館課)	*生徒の読書活動の充実 *視聴覚教室の整備の継続	*1年生図書館オリエンテーションをはじめ、さまざまな読書啓発活動を通じて生徒の読書意欲の向上を図る。 *視聴覚教室の利便性の向上を図る。	*コロナ禍で一昨年に比べ3分の1まで激減した貸出冊数を2分の1まで回復することができた。 *図書委員会を中心に図書紹介や図書館だよりなど読書啓発活動を積極的に行った。 *視聴覚機器や予約用ホワイトボードの更新などを行い視聴覚教室の利便性を高めた。
国際理解教育 (国際課)	*SDGsに学校全体で取り組み、国際理解教育・国際交流を推進する。 *国際教養科の充実・発展を図る。	*国際理解を深めるための啓発活動(国際課通信の発行、集会での留学体験報告等)を継続して行う。 *海外研修、国際理解講演会、異文化講座など国際課が主催する行事の一層の充実を図る。 *留学生の受け入れを積極的に行う。 *海外進学や留学、海外への派遣事業などの情報を伝達し、希望する生徒への支援を行う。 *外国人講師との連携を密にし、国際教養科の授業内容を一層充実したものにしていく。 *新規設定科目「グローバル探究」の円滑な実践と研究を推進する。	*文化委員会と連携し、国際課通信を年4回発行し、国際理解講演会や異文化講座の内容、また、グローバル探究の授業内の特別講義やSDGs愛知・夢・プロジェクトの内容を記事にし、全校生徒・教員と情報共有することができた。 *国際理解講演会や異文化講座は、事前の打ち合わせや準備等もしっかりと行い円滑に実施することができた。アンケート結果より、どちらも生徒にも大変好評であったことが何え、大きな学びの機会を提供でき、国際理解を深めることができた。 *外国人講師と綿密に連絡を取り、日常の授業や成績処理等円滑に進めることができた。 *何もかもがゼロからのスタートであったが何とか軌道に乗せることができた。来年度は一層充実した取組にしていきたい。
いじめ防止基本方針に基づく取組	年に2回実施する学校迷惑調査や日常の観察により、全職員でいじめのサインを見逃さない環境づくりに努めた。適宜、いじめ防止対策委員会を設け、いじめの未然防止に努めた。ホームルーム活動においても、担任からの声掛けにより、生徒が主体的にいじめについて考える機会を設けた。		
勤務時間の適正な管理及び長時間労働による健康障害防止に関する取組	職員会議のペーパーレス化等により、勤務時間を適切に管理し、業務の適正化を図るとともに教職員のメンタルヘルスの保持と健康障害の防止に努めた。		
総合評価	① コロナ禍で学校祭の中止などがあったが、限られた中で精一杯取り組ませることができた。 ② TEAMSを利用したオンライン学習支援を行うなど、ICT機器を効果的に使用できた。 ③ WWLの指定を受け、SDGsに関する探究学習を行い、国際理解教育を推進した。 ④ 教員の指導は勿論、生徒同士の声掛けを通して、自他の尊重と規範意識の高揚を図った。 ⑤ SCを含むチームによる教育相談の実施を通じて、悩みを抱える生徒への支援を行った。		